

あきたっ子

平成20年12月18日

No.105



発行 秋田市PTA連合会 市P連シンボルマーク
編集 総務広報部
事務局 秋田市山王二丁目1-53山王21ビル内
☎866-2248 FAX 866-2252
E-mail:akitapta@cna.ne.jp
http://www.akita-pta.jp/

子どもたちが新世紀の担い手として成長してくれることを願い、「あきたっ子」としました。



土崎小学校 10月24日(金)

「夢の教室」5年生

ラモス瑠偉さんが夢について語っていただきました

「夢の教室」

待ちに待った十月二十四日、土崎小学校五年二組にラモス瑠偉さんがやってきました。

前半は体育館で体を動かし、大はしゃぎ！すぐに緊張もとけ、一緒に汗を流しました。

後半は教室で「夢」について熱く語っていただき、子供達は目をキラキラ輝かせてお話を聞いていました。

夢を叶えるためにどんな事をすれば良いのか……一人一人が、真剣に考えて発表しました。

目次

土崎小学校「夢の教室」	1
会長あいさつ	2
秋田市PTA連合会60年の軌跡	3
メディアリテラシー研修会	4
一円玉福祉募金運動	4
知力、体力は朝食から	5
平成20年度 球技大会結果報告	6
60周年記念事業を終えて	6
あとがき	6

祝 60周年記念 秋田市PTA連合会

ご挨拶



秋田市PTA連合会
会長 渡辺 正宏

秋田市PTA連合会が、六十周年という記念すべき日を迎えられることを、会員の皆様とともに喜びたいと思います。また、今日この日を迎えられるのも、これまでこの連合会を支えてこられた歴代会長や役員の方々のおかげと深く感謝申し上げます。そして、PTA活動にかかわってこられた諸先輩や関係諸機関の方々のご支援・ご協力に対し、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

昭和二十四年、新教育制度の下、子どもの教育と福祉の向上を目的にPTAという組織が設立され、以来六十年秋田市PTA連合会として運営してまいりました。しかし、ここ最近PTA会員の関わり方も微妙に変わってきているような気がいたします。役員の手がなく抽選で役員を決めるとか、PTA不要論だとか、最近では、「モ

ンスター ペアレンツ」なる言葉も出てきました。しかし、PTAの活動が「子どものために」という思いは、時代や環境が異なっても、変わりはないと信じております。ただ、向けるべきベクトルがやや違っているのだと思っております。今そのベクトルをみんなで同じ方向に向け、心をひとつにして、活動する必要があるのではないかと考えております。

激変する社会状況の中で、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきており、残念ながら決していい環境だとはいえない状況です。こういう時代だからこそ我々保護者が、子どもたちを守っていかねばならないと思えます。PTAの果たすべき役割も大きなものがあるのではないかと考えております。保護者が家庭で、教師が学校で、PTAOBの皆さんが地域で、それぞれの立場で子どもたちに関わっていく。まさに「家庭で躰、学校で学び、地域で育てる」ということだと思えます。このバランスが取れて初めて、社会が子どもを共に育てると

いう「共育（きょういく）」という姿が実現できるのではないでしょうか。六十周年という節目の年を迎えた今、もう一度原点に戻り、PTA活動を通じて会員の皆さん方の絆を強くし、未来を担う子どもたちを育ててまいります。

**秋田市PTA連合会
創立六十周年記念式典**

平成20年10月29日

感謝状贈呈

渡辺会長より赤田前会長へ

感謝状受賞された方々

榎 宏様
(平成十年度会長)

赤田 英博様
(平成十一〜十七・十九年度会長)



渡辺会長より赤田前会長へ



平成20年10月29日

吉田 幸雄様
(平成十八年度会長)

竹嶋百合子様
(昭和六十二年四月〜平成十九年十月事務局職員)

アトラクション

明德小学校音楽部による合唱

♪一曲目 秋田県民歌
♪二曲目 唱歌〜秋
♪三曲目 世界が一つになるまで

記念講演

演題 「気象情報うらおもてと秋田の気象」

氏名 高田 斉

気象予報士 NHK気象キャスター
元日本ウエザーキャスター協議
会会長
NPO法人気象キャスターネッ
トワーク監事



氏名 高田 斉





秋田市PTA連合会 60年の軌跡

秋田市PTA連合会の誕生と歩み

昭和23年	6月26～27日 明治大学にて日本PTA結成促進準備会発足。 7月25日 旭北小学校において、秋田市PTA連合会（以後市P連と記）設立総会が開かれ、初代会長に旭北小学校PTA佐藤末松氏を選出。9単位PTAにより組織され、校外部、文化部、体育部をおく。 8月28日 第1回親睦野球大会全市大会が開かれ、港北小学校が優勝。
昭和29年	秋田市教育委員会（以後市教委と記）と市P連の懇談会開催。
昭和32年	4月1日 市P連会則ができる。第3条に「この会はPTA本来の目的のため単位PTAの連絡調整を図るを以て目的とする」とある。 全国協議会が日本PTA全国協議会（以後日Pと記）に改称される。
昭和39年	9月5日 市P連主催第1回家庭バレーボール大会を開催。
昭和43年	各単位PTAで創立20周年記念式典が行われる。 日P創設20周年記念式典が皇太子御夫妻臨席のもと挙行される。
昭和45年	市P連に交通安全部をおく。 9月4～5日 第2回東北PTA研究大会（新潟県も含む）秋田大会を主管。
昭和51年	将来の5地区編成から、土崎地区が独立し6地区編成とする。
昭和53年	10月20～21日 第10回東北PTA研究大会秋田大会を主管。
昭和54年	市P連組織体制が、校外指導部、交通安全部、文化研修部、保健体育部の4専門部制であったが、体育部が独立し、更に保健と給食を合わせ保健給食部の5専門部制に。
昭和55年	車社会になり、子ども達に交通安全教育及び交通遺児の仲間への思いやりの心を育てる、更に小さな一円玉を大切にす金銭感覚を身につけさせたいという趣旨により第1回交通遺児「一円玉福祉募金」を実施。
昭和59年	市P連に総務部を設置し、これまで5専門部制であったものを6専門部制とする。 11月9～10日 第16回東北PTA研究大会秋田大会を主管。
昭和62年	8月19日 校外指導部が市内小中学校学区内危険箇所マップを作成。
平成2年	1月14日 秋田市内に初めてカラオケボックスが10箇所営業を開始したため市教委社会教育課との共催で、校外指導部が班編成をし子ども達を取り巻く環境的面から実態調査。
平成4年	全国の小中学校で、月1回の割合で学校週5日制が実施される。 市教委と地区PTAによる懇談会を各公民館にて開催、学校週5日制に伴う子ども達の地域での過ごし方や学校施設開放について協議。
平成10年	10月3日 創立50周年記念式典、記念祝賀会を挙行。50周年を記念し、シンボルマークを設定。秋田市関係者及び、市P連OB、現役員311名出席。
平成11年	12月22日 一円玉福祉募金運動20回を数える。
平成12年	3月28日 これまでの6専門部制から4専門部制への案が次年度定期総会に提示されることとなる。 総務部・校外指導部・交通安全部・文化研修部・体育部・保健給食部の6専門部制を総務広報部・生活安全部・文化研修部・保健体育部の4専門部制へ。
平成13年	5月12日 定期総会開催、4専門部制承認される。 11月26日 市教委と市P連との教育懇談会において、次年度から全国的に実施される完全学校週5日制への対応等について協議。
平成15年	市町村合併の準備が行政により進められる。
平成16年	市町村合併に伴うPTA側の準備のため会議を開催。河辺郡PTA連合会の合同三役会にて調整。 11月23日 臨時総会を開催、河辺雄和地区を追加加入。
平成18年	子どもたちを取り巻く環境の悪化に伴い、生活安全部では不審者対策・子どもの安全確保と護身術を研修。文化研究部では、親として自分自身を分析し、客観的に自分をみる力をつける研修を開催。
平成19年	9月29日 秋田わか杉国体開催
平成20年	3月6日 会報第100号発行

「メディアリテラシー研修会」

文化研修担当
副会長 鎌田 法子

文化研修部では、時代に合った生活や教育に関する研修会を通じ、PTA会員が充実した子育てを実現できるよう、話し合いを進めてきました。

時代の流れとともに、パソコンや携帯電話など、子どもをとりまく環境は大きく変化しており、親としての役目も多岐に渡っていることから、平成十九年度からは秋田市教育委員会学校教育課との連携でメディアリテラシー研修会を開催しております。



メディアリテラシー研修会 (秋田市教育研究所)



今年度は秋田市教育研究所において、秋田市と全国の児童生徒の携帯電話の所持率とフィルタリングの利用状況、家庭内のルール、携帯電話についての意識・学習時間との関係、またはネットトラブルの事例などを研修しました。その後実際に二人で一台のパソコンを使いインターネットに接続して、子どもたちのメディアの現状をかいま見ました。

今後とも健全な子どもたちの育成に必要な研修会を企画運営していきたいと考えております。是非みな様の参加をお待ちしております。

「一円玉福祉募金運動」

生活安全部

秋田市PTA連合会生活安全部では、毎年十二月に「一円玉福祉募金運動」を実施しております。これは、秋田市小中学校の児童生徒が、様々な環境にある子どもたちと同じ時代を生きる仲間として助け合い、友情を深め、そして一円玉を大切にすることを育つ人間に育つことを願い開催してまいりました。おかげさまで今年度二十九回目を迎えることができました。

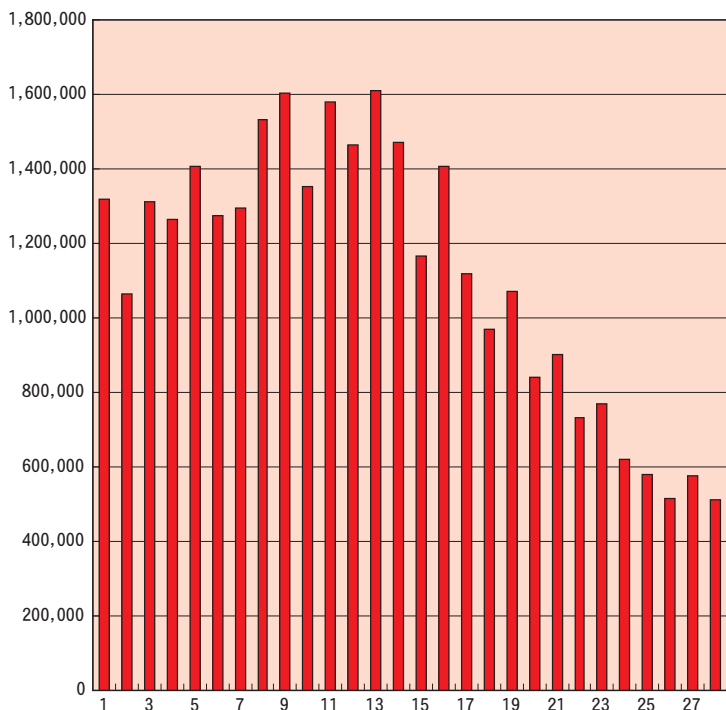
この募金活動は昭和五十五年交通遺児のための「一円玉福祉募金」として開始し、平成十五年からは秋田市内の養護施設等に児童数により配分し、贈呈しております。

募金期間中(今年度は十二月一日〜八日)各学校で「一円玉福祉募金運動シール」を空き瓶等の容器に貼って各教室に設置し、子どもたちが直接容器に一円玉を入れられるようにします。集められた募金は、秋田市PTA連合会がとりまとめた上、冬休み初日(今年度は十二月二十六日)

に、秋田市社会福祉協議会で贈呈式を行います。

「一円玉福祉募金」の時期には、お小遣いや買い物のおつりなどから一円玉を募金用によせている子どもたちもいると聞いております。募金をとおして、一円玉の大切さを理解するとともに、助け合うことの優しい心が育つことを祈っております。

回数別贈呈額



平成19年度「一円玉福祉募金」贈呈式

「早寝早起朝ごはん」運動は、政府・民間が一体になって取り組んでいます。健康の三原則「食事・運動・休養」の大切さを理解していても実行に移すのは難しいものです。そこで毎日の「朝食」を中心にして基本的な生活習慣を身に付けてほしいと始まった運動です。生活習慣病の低年齢化、お金さえあればいつでも何でも食べられるという食環境の変化など子供たちをめぐる生活の課題が山積しています。身近な朝食を見直すことで、改善の一步にしたいと考えているのです。

朝食を毎日食べる効果を様々な機関が調査しています。その結果、朝食を食べて登校している児童・生徒は食べていない児童・生徒より「体力テスト」や「学力テスト」の結果がよいことがわかっています。秋田県の平成十七年度の調査によると、毎日朝食を食べている人は約九十%でした。全国平均より高いもの、また改善の余地が

「知力、体力は朝食から」

秋田市立秋田南中学校
栄養教諭 菊地 和子

あります。

毎日朝食を食べてほしいと、本校においても「調査活動」「授業実践」「便り配布」等、様々な取組を行っています。授業では朝食の効果をもつつのスイッチに例えています。一つは「脳」、二つ目は「体」、三つ目は「通じ」のスイッチです。ご飯やパンなどの主食から摂ったブドウ糖が脳のエネルギー源になると、卵や納豆などの主菜のたんぱく質が体温上昇に働くこと、野菜や果物から摂った食物繊維などが通じを促すことを話します。また、現在朝食欠食をしている人はとりあえず食べてくれること、食べる習慣のついていない人は主食・主菜・副菜・汁物など食事の内容を考えて食べることをアドバイスしています。



スナップ あきたっ子



下新城小学校 11月7日(金)

ふるさと集会で地域の方たちと「もちつき」をしました。おいしい「おもち」を全校で食べました。



高清水小学校 11月1日(土)

「高清水秋田城跡太鼓」創立130周年を記念して、式典では太鼓クラブが初めての演技を披露しました。



金足東小学校 北部公民館まつりへ出演！ 10月11日(土)

クラブの時間に黒川番楽保存会の方々から習っている、扇舞を披露しました。



金足西小学校 9月14日(日)

あきたYOSAKOIキッズ祭り (横手市)

スナップあきたっ子
写真募集!!

秋田市PTA連合会 総務広報部 秋田市山王二丁目1-53

TEL 018-866-2248 / FAX 018-866-2252

E-mail: akitapta@cna.ne.jp http://www.akita-pta.jp/ ホームページもご覧下さい。

平成二十年度 球技大会結果報告

今年度、秋田市PTA連合会親睦野球大会は秋田市PTA連合会創立六十周年を記念大会とし、各優勝校に対し個人特別賞を設けました。

■八月二十三日(土)

第四十五回全市バレーボール大会

ゴ・ビニールⅡ秋田市立体育館
革ボールⅡ河辺体育館

○小学校ゴムの部

優勝 高清水小学校



準優勝 川尻小学校
三位 港北小学校
八橋小学校

個人賞

田中 香 (高清水小学校)

○中学校ゴムの部

優勝 泉中学校



準優勝 土崎中学校
三位 秋大附属中学校

個人賞

小笠原春美 (泉中学校)

○小学校ビニールの部

優勝 飯島小学校



準優勝 桜小学校
三位 外旭川小学校
八橋小学校

個人賞

伊藤 政子 (飯島小学校)

○中学校ビニールの部

優勝 飯島中学校



準優勝 城東中学校
三位 秋田南中学校
山王中学校

個人賞

伊藤 直美 (飯島中学校)

○小学校革の部

優勝 勝平小学校

準優勝 広面小学校

三位 寺内小学校
大住小学校

個人賞

松川みゆき (勝平小学校)

○中学校革の部

優勝 泉中学校

準優勝 城南中学校

三位 雄和中学校
勝平中学校

個人賞

舟木しげ子 (泉中学校)

■九月十三日(土)・十四日(日) 第六十一回全市野球大会 秋田市向浜四面球場

○小学校の部

優勝 仁井田小学校



準優勝 大住小学校
三位 外旭川小学校
飯島南小学校

特別賞

長門 満 (仁井田小学校)

最優秀選手賞

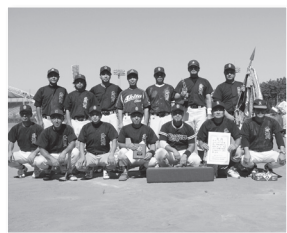
出原 勝行 (仁井田小学校)

優秀選手賞

伊藤 秀樹 (大住小学校)

○中学校の部

優勝 外旭川中学校



準優勝 秋田東中学校
三位 山王中学校
勝平中学校

特別賞

高橋 直仁 (外旭川中学校)

最優秀選手賞

熊谷 信次 (外旭川中学校)

優秀選手賞

鈴木 賢一 (秋田東中学校)

選手の皆さん、お疲れ様でした。



閉会式の様子

六十周年記念事業を終えて

事務局次長

六十周年記念事業担当 阿部 昌子

十月二十九日に行われまし
た市P連創立六十周年記念式
典・祝賀会に多数のご来賓、P
TA会員の皆様にご出席いた
だきありがとうございました。
皆様のご協力のもと無事に
終えることができましたこと
に感謝申し上げます。

事業は、思いを形にし表現
できるやりがいのある業務で
した。一人の力は小さくても
幾人もの力が結集すれば大き
なものにできる。それが実感
です。PTAの役割も同じだ
と思います。

大勢の中の一人ではなく、
一人一人から広がっていく輪
を目指し、今後のPTA活動
に貢献できたらと思います。

あとがき

市P連六十周年記念すべ
き年に「あきたっ子」の編
集に携らせていただきPT
A活動をより身近に感じる
ことができました。
お忙しい中ご寄稿戴きま
した皆様には、お礼申し上
げます。

秋田市立高清水小学校
佐々木秀美